



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月4日
東

上場会社名 株式会社中山製鋼所 上場取引所
コード番号 5408 URL <https://www.nakayama-steel.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 箱守 一昭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 阪口 光昭 (TEL) 06-6555-3035
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	47,430	△0.8	3,777	15.3	3,827	15.9	2,885	△6.8
2023年3月期第1四半期	47,796	34.5	3,275	245.3	3,304	331.9	3,097	528.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,086百万円(△0.5%) 2023年3月期第1四半期 3,102百万円(517.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	53.31	—
2023年3月期第1四半期	57.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	148,166	98,754	66.7
2023年3月期	148,787	96,859	65.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 98,754百万円 2023年3月期 96,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	33.00	—	22.00	55.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	92,000	△1.4	6,100	△21.6	5,900	△23.5	3,400	△43.1	62.80
通期	180,000	△4.5	11,400	△16.4	11,000	△17.7	6,800	△33.5	125.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	63,079,256株	2023年3月期	63,079,256株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	8,942,912株	2023年3月期	8,942,937株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	54,136,288株	2023年3月期1Q	54,136,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類へ引き下げられ、経済活動の正常化が進み、個人消費・企業活動ともに緩やかな回復傾向が見られました。しかしその一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に起因する原燃料価格の高止まりや物価上昇など、先行き不透明感が強まっております。

当社グループの主力事業である鉄鋼業界におきましては、自動車向け需要は半導体の供給不足が解消されるにつれ回復傾向にあります。建築や産業機械向けの国内鉄鋼需要は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画（2022年度～2024年度）の重点方針に沿って、完全子会社の三泉シャープ株式会社の第2工場を当社構内に建設し、2023年4月より本格的に営業生産を開始するなど、当社グループの諸施策を推進しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高474億30百万円（前年同期比3億65百万円減）、営業利益37億77百万円（前年同期比5億1百万円の増益）、経常利益38億27百万円（前年同期比5億23百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益28億85百万円（前年同期比2億12百万円の減益）となりました。なお、2022年4月1日付で連結子会社の中山三星建材株式会社と合併したことに伴い税効果会計上の会社区分が変更され、前第1四半期連結会計期間において繰延税金資産の計上がありましたので、当第1四半期連結会計期間の税金費用は前年同期比で増加しております。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、鋼材販売数量の減少や、電力・ガスなどのエネルギー価格の上昇によるコストアップはあったものの、鋼材販売価格の上昇に加え主原料であるスクラップ価格が下落したことにより前年同期比でスプレッドが改善しましたので、減収増益となりました。これらの結果、売上高は468億77百万円（前年同期比2億85百万円減）、経常利益は37億18百万円（前年同期比5億90百万円の増益）となりました。

エンジニアリングにつきましては、鋳機部門の受注が減少したことなどにより、売上高は2億97百万円（前年同期比74百万円減）、経常損益は47百万円の損失（前年同期比20百万円の減益）となりました。

不動産につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は2億55百万円（前年同期比6百万円減）、経常利益は1億81百万円（前年同期比5百万円の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,481億66百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億21百万円減少しました。これは主として、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）が減少したことによるものであります。

負債については、494億11百万円となり、前連結会計年度末と比べ25億16百万円減少しました。これは主として、未払法人税等及び賞与引当金の減少によるものであります。

純資産については、987億54百万円となり、前連結会計年度末と比べ18億95百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期第2四半期（累計）業績予想につきましては、一部の鋼材販売数量及び販売価格が期初の想定を下回るため、売上高は前回公表値を下回る見通しです。また、主原料価格も販売価格と同様に期初の想定を下回るなど鋼材スプレッドは改善する見通しですが、製造コストの上昇を見込んでおりますので、営業利益、経常利益、四半期純利益は前回公表値通りを見通しております。

2024年3月期通期業績予想につきましては、中小建築物件及び建産機など製造業の回復の遅れを背景とした国内・海外マーケットにおける鋼材需要の低迷の長期化やそれに伴う鋼材販売価格の悪化、原材料・エネルギー価格の高止まりなど先行き不透明な状況が続くことが懸念されます。

以上の状況を踏まえ、2024年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期（累計）は、売上高920億円、営業利益61億円、経常利益59億円、親会社株主に帰属する四半期純利益34億円を、通期は、売上高1,800億円、営業利益114億円、経常利益110億円、親会社株主に帰属する当期純利益68億円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,775	17,485
受取手形、売掛金及び契約資産	35,908	35,973
電子記録債権	9,472	9,451
商品及び製品	16,705	15,600
仕掛品	5,632	5,789
原材料及び貯蔵品	12,465	11,540
その他	680	868
貸倒引当金	△57	△58
流動資産合計	97,582	96,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,770	7,078
機械及び装置（純額）	13,474	13,754
土地	22,992	22,627
その他（純額）	1,665	1,657
有形固定資産合計	44,903	45,117
無形固定資産	544	494
投資その他の資産		
投資有価証券	3,150	3,337
差入保証金	1,364	1,381
その他	1,283	1,224
貸倒引当金	△41	△40
投資その他の資産合計	5,756	5,902
固定資産合計	51,204	51,515
資産合計	148,787	148,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,577	20,645
電子記録債務	1,631	1,804
短期借入金	2,620	2,605
1年内償還予定の社債	27	27
未払金	1,726	2,712
未払費用	1,876	1,904
未払法人税等	3,270	1,365
賞与引当金	1,135	489
環境対策引当金	237	222
解体撤去引当金	41	41
その他	2,697	1,640
流動負債合計	35,842	33,458
固定負債		
長期借入金	7,629	7,486
繰延税金負債	2,985	3,040
再評価に係る繰延税金負債	1,001	1,001
環境対策引当金	233	233
解体撤去引当金	362	362
関係会社事業損失引当金	119	139
退職給付に係る負債	2,437	2,407
その他	1,314	1,280
固定負債合計	16,085	15,952
負債合計	51,927	49,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,044	20,044
資本剰余金	7,826	7,826
利益剰余金	66,179	67,883
自己株式	△775	△775
株主資本合計	93,274	94,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,213	1,412
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	2,421	2,412
退職給付に係る調整累計額	△49	△48
その他の包括利益累計額合計	3,585	3,776
純資産合計	96,859	98,754
負債純資産合計	148,787	148,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	47,796	47,430
売上原価	41,504	40,552
売上総利益	6,291	6,878
販売費及び一般管理費		
販売費	1,278	1,295
一般管理費	1,737	1,805
販売費及び一般管理費合計	3,016	3,101
営業利益	3,275	3,777
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	43	49
持分法による投資利益	47	46
受取保険金	6	48
その他	60	24
営業外収益合計	171	181
営業外費用		
支払利息	50	31
賃借料	37	34
その他	55	64
営業外費用合計	142	131
経常利益	3,304	3,827
特別利益		
固定資産売却益	3	531
スクラップ売却益	315	176
その他	11	0
特別利益合計	331	709
特別損失		
固定資産除却損	10	287
その他	1	20
特別損失合計	12	307
税金等調整前四半期純利益	3,623	4,229
法人税、住民税及び事業税	1,288	1,384
法人税等調整額	△763	△40
法人税等合計	525	1,343
四半期純利益	3,097	2,885
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,097	2,885

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,097	2,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	199
繰延ヘッジ損益	0	0
退職給付に係る調整額	3	0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	4	200
四半期包括利益	3,102	3,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,102	3,086
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	47,163	372	—	47,535	—	47,535
その他の収益	—	—	261	261	—	261
外部顧客への売上高	47,163	372	261	47,796	—	47,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	77	2	85	165	△165	—
計	47,240	375	346	47,961	△165	47,796
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失(△))	3,127	△26	176	3,276	27	3,304

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	3,276
セグメント間取引消去	△9
全社営業外損益(注)	36
四半期連結損益計算書の経常利益	3,304

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	46,877	297	—	47,175	—	47,175
その他の収益	—	—	255	255	—	255
外部顧客への売上高	46,877	297	255	47,430	—	47,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	50	8	118	177	△177	—
計	46,928	306	374	47,608	△177	47,430
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失(△))	3,718	△47	181	3,852	△24	3,827

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	3,852
セグメント間取引消去	△24
全社営業外損益(注)	△0
四半期連結損益計算書の経常利益	3,827

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。